

# Topic 48

## 米国ミシガン州の VCP

- 1) こんなところですか
- 2) ミシガン州の VCP

---

お疲れ様です。環境メルマの佐藤です。今週半ばにお送りした特別トピック（ベルギー王国）は如何でしたでしょうか。今週の通常トピックは、ミシガン州にスポットを当ててブラウンフィールド再開発をみてみます。

### 1) こんなところですか

ミシガン州は、五大湖のスペリオール湖、ミシガン湖、ヒューロン湖そしてエリー湖に隣接している2つの半島（Upper 半島、Lower 半島）に位置しており、全米50州で一番長い海岸をもつ州です。同州は1837年1月26日、26番目に米国に加入しました。州の総人口は約1,000万人、人口密度は約40人/k㎡、州都はライジング、最大都市はデトロイトです。

デトロイトといえば自動車産業を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。「自動車王」あるいは「自動車の育ての親」で知られるHenry Ford氏がFord Motor Companyを創立し、世界初の大量生産型の自動車工場を設立したまちですね。ここでは自動車工業が見事に地元産業となり、1950年代には全盛期を飾りましたが、20世紀後半にはコストパフォーマンスに優れた日本製の自動車の需要が上昇したことにより、産業衰退、市街地の人口流出および治安悪化という深刻な事態に陥りました。殊に日本がバブル景気で浮かれていた頃、デトロイトの市政は最悪。行政は都市の再生を目指し活動が続けているようですが、そう思うようには改善されていないのが実態のようです。

なんだかブラウンフィールドが沢山ありそうな気配ですが・・・。

### 2) ミシガン州の VCP

本州の汚染サイト自主浄化プログラムは、ミシガン州環境局修繕および再開発課によって実施されています。過去約10年間にプログラムへ申請したサイトが約7500件。そのうち登録者が登録費用を支払い州当局に調査を実施してもらったサイトは約3500件。最終的に州からの資金を援助してもらい汚染対策が可能となった汚染サイトは1,000件以上と報告されています（2004年）。

さて、州はどのようにして浄化対象サイトの優先順位を決めているのでしょうか？

同州のプログラムには、人の健康および生活環境に影響するリスクに基づいて汚染サイトをランク付けする「サイト アセスメント モデル」が用意されています。同モデルは以下6つのカテ

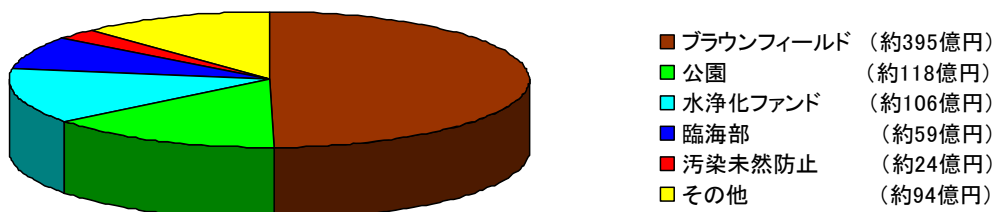
ゴリーから構成されており、最終的には汚染サイトの有害度合をスコア表示します。6つのカテゴリーの合計点が高いほど、人の健康におけるリスクが高いことを示します（点数には0～48点の幅がある）。

1. 汚染状況（土壌、地下水、表層水、空気中の汚染が人に与える影響を評価）：Max. 20
2. 汚染物質の環境中での動きやすさ：Max. 5
3. 汚染物質によって影響を受ける自然環境の有無と希少性：Max. 3
4. 汚染物質の影響を受ける、半径800m内のコミュニティーの人口密度：Max. 4
5. 半径800m以内に学校、病院、養護施設、許可託児所があった場合1点追加。
6. 汚染物質の濃度や汚染源となる廃棄物の種類：Max. 15

人の健康と生活環境を保護するという目的を果たすためには一体どの汚染サイトを優先させて浄化すべきなのか？もし、ある理論立てによって優先順位が定められるのならばプログラム運営者は大助かりです。ミシガン州のサイト アセスメント モデルには経済的なパラメーターが含まれておりませんが、それも入れて考える必要があるのかもしれない。

次に1998年に是認されたミシガン州環境債の内訳をご紹介します。自主浄化を含めたブラウンフィールド再開費に約395億円の費用が割り当てられていることが分かります。これまでどの程度のリターンがあったのでしょうか？そのあたりの情報も気になりますね。

Clean Michigan Initiative (総額約797億円)



来週は、オハイオ州のVCPをご紹介します。お楽しみに。

Thanks God It's Friday!

Thanks God It's Brownfield!!

環境メルマ 佐藤 ([t.sato@ers-co.jp](mailto:t.sato@ers-co.jp))

---

坂野のつけたし ([banno@ers-co.jp](mailto:banno@ers-co.jp))

Nickname -- 「The Wolverine State (あなぐまの一種。ちょっとワイルド?)」「The Great Lake State (オンタリオ湖以外の五大湖と接している)」「Water Wonderland」「Lady of the Lake」「The

Auto State (デトロイト)」

事例紹介 -Jackson (ジャクソン) : デトロイトの西約 80 マイル (128km) にある、人口 16 万人弱の都市。現在 Consumers Energy という州最大の電力ガス供給会社 (以下 CE 社) の本社があります。その場所で行われたブラウンフィールドプロジェクトは、2003 年に優れたブラウンフィールド事業に贈られる賞 (フェニックスアワード) の栄えある受賞者となりました。

ジャクソン市の中心部には、石炭ヤード、ガソリンスタンド、機械工場、スクラップヤードなどが操業していた約 6 万 m<sup>2</sup> の土地があり、そこでは砒素や銅などの重金属、油、テトラクロロエチレンなどの塩素系溶剤による土壤汚染問題が発生していました。一方、このような環境問題に加え、ジャクソン市は、本社移転を計画している CE 社を、市の重要な雇用主として繋ぎとめるための方策に頭を悩ませていました。

解決策は PPP (Public-Private Partnership ; 官民パートナーシップ) にありました。市は道路や下水、駐車場を整備するために 4300 万ドル、CE 社は本社建設のために 7000 万ドルの費用を出し合い、一帯の開発を行いました。開発の際に行われた、22 万 m<sup>3</sup> の汚染土壌対策、既存の建物の解体、そして整地にかかる費用 (3200 万ドル) は TIF (将来の税増収分を見込んだ資金調達) で賄ったそうです。

CE 社の新本社の入り口には、かつてその一画にあった文化財クラスの郵便局建物が移され、歴史に対する配慮もなされています。また、市は 1350 人の雇用を確保し、750 万ドルの市税収入を得ることができました。

(<http://www.cityofjackson.org/departments/coolcity/Brownfields.pdf#search=%22jackson%20brownfields%22> にストーリー。CE 社本社の正面写真は <http://www.city-data.com/picfilesc/pic6125.php>)